



平成27年4月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成26年9月5日

上場会社名 株式会社アスカネット 上場取引所 東  
 コード番号 2438 URL <http://www.asukanet.co.jp>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長兼CEO (氏名) 福田 幸雄  
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役CFO (氏名) 功野 顕也 (TEL) 082-850-1200  
 四半期報告書提出予定日 平成26年9月12日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年4月期第1四半期の業績(平成26年5月1日～平成26年7月31日)

(1) 経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年4月期第1四半期	1,170	4.9	155	△3.5	157	△3.2	99	0.0
26年4月期第1四半期	1,116	4.9	161	6.3	162	7.6	99	8.5
	1株当たり 四半期純利益		潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益					
	円 銭		円 銭					
27年4月期第1四半期	23.78		23.51					
26年4月期第1四半期	23.78		23.72					

(2) 財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年4月期第1四半期	4,235		3,660			86.3
26年4月期	4,357		3,687			84.5

(参考) 自己資本 27年4月期第1四半期 3,653百万円 26年4月期 3,681百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年4月期	—	0.00	—	32.00	32.00
27年4月期	—				
27年4月期(予想)		0.00	—	32.00	32.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成27年4月期の業績予想(平成26年5月1日～平成27年4月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	4,984	4.6	673	△6.3	676	△6.9	434	△2.6	103.66

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

当社は、業績管理を年次で行っているため、第2四半期累計期間の業績予想は開示しておりません。

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は、添付資料3ページ「四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

27年4月期1Q	4,366,000株	26年4月期	4,366,000株
----------	------------	--------	------------

② 期末自己株式数

27年4月期1Q	179,527株	26年4月期	179,527株
----------	----------	--------	----------

③ 期中平均株式数（四半期累計）

27年4月期1Q	4,186,473株	26年4月期1Q	4,186,473株
----------	------------	----------	------------

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期財務諸表に対する四半期レビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の数値は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績の前提となる条件及び業績予想の利用にあたっての注記事項等については、添付資料3ページ「業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 .....	3
(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	3
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	3
3. 継続企業の前提に関する重要事象等 .....	3
4. 四半期財務諸表 .....	4
(1) 四半期貸借対照表 .....	4
(2) 四半期損益計算書 .....	5
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項 .....	6
(継続企業の前提に関する注記) .....	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	6
(セグメント情報等) .....	6

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期累計期間におけるわが国の経済は、政府の景気対策や日銀の金融政策などにより企業業績が緩やかに回復し、消費税増税により懸念されておりました個人消費も底堅く推移しております。

当社は、景気動向に左右されにくい葬祭市場に対し遺影写真等画像映像のデジタル加工、通信出力サービスを主に提供するメモリアルデザインサービス事業、1冊から本格的写真集という新しい写真のアウトプット手法を提案するチャレンジングなビジネスであるパーソナルパブリッシングサービス事業、空中結像という今までにないユニークな技術で、新しい市場を創造し、夢の実現を目指すエアリアルイメージング事業、それぞれに位置づけや特色が異なる三つの事業を展開してまいりました。

また、インターネットを活用したBtoC向け新規ビジネスの開発にも注力してまいりました。

このような状況のもと、既存事業での着実な成長と、新規事業への先行投資のバランスに配慮して、事業を推進してまいりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

## (メモリアルデザインサービス事業)

当事業におきましては、新規顧客の確実な獲得により、遺影写真等の加工や、ビデオなどの演出ツールの作成が順調に推移し、額の売上も好調でした。一方、ハード機器の売上は買換えが想定ほど進まず、粗利の獲得も想定通り進みませんでした。

また、経費面におきましては、展示会向けの広告宣伝費や、旅費交通費が増加いたしました。

以上の結果、売上高は521,735千円(前年同四半期比102.5%)、セグメント利益は152,561千円(前年同四半期比96.9%)となりました。

## (パーソナルパブリッシングサービス事業)

当事業におきましては、一般消費者向けには、各種キャンペーンの実施や、企業とのタイアップでのサービス提供などに取り組んでまいりました。プロフェッショナル写真家向けでは、地道な営業活動による契約獲得に加え、ASUKABOOKセミナーの実施や、展示会への出展により拡販を図ってまいりました。

国内プロフェッショナル写真家向け売上、一般消費者向け売上とも順調に推移し、特に新製品であるZENレイフラットやオンデマウントの販売が好調でした。

費用面では広告宣伝費や人件費などが増加したものの、生産効率の向上や減価償却費の減少により粗利率が改善しました。

以上の結果、売上高は634,421千円(前年同四半期比105.1%)、セグメント利益は127,580千円(前年同四半期比108.1%)となりました。

## (エアリアルイメージング事業)

当事業は、空中結像技術を用いた新しい画像・映像表現により市場を創造することを目指し、平成23年3月に開始した事業であります。

当事業におきましては、空中結像を可能にする特殊なプレート(AIプレート)の試作品の販売は順調に伸ばしました。また、展示会出展の準備を進めてまいりました。

AIプレートの生産につきましては、複数の手法によって試作・技術開発を進めており、量産技術の確立に向けて注力しております。

以上の結果、売上高は14,273千円(前年同四半期比400.3%)、セグメント損失は16,030千円(前年同四半期は14,455千円の損失)となりました。

以上の結果、売上高は1,170,429千円(前年同四半期比104.9%)となり、利益面につきましては、上記しました各事業の状況に加え、新規ビジネスの研究やマーケティング等への先行費用が発生したため、経常利益は157,279千円(前年同四半期比96.8%)、四半期純利益は99,570千円(前年同四半期比100.0%)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期会計期間末における資産は、前事業年度末に比べ122,208千円減少し、4,235,245千円となりました。これは主に、商品及び製品が29,303千円増加した一方で、法人税等や配当の支払いにより現金および預金が189,401千円減少したことによるものであります。

当第1四半期会計期間末における負債は、前事業年度末に比べ94,982千円減少し、574,818千円となりました。これは主に、未払法人税等が105,600千円、賞与引当金が55,000千円減少したことによるものであります。

当第1四半期会計期間末における純資産は、前事業年度末に比べ27,225千円減少し、3,660,427千円となりました。これは主に、四半期純利益を99,570千円計上した一方で、剰余金の配当として133,967千円計上したことによるものであります。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成26年6月10日に発表いたしました平成27年4月期業績予想につきましては、現時点において変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

(税金費用の計算)

当第1四半期会計期間を含む事業年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積もり、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

4. 四半期財務諸表  
 (1) 四半期貸借対照表

(単位:千円)

	前事業年度 (平成26年4月30日)	当第1四半期会計期間 (平成26年7月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,911,024	1,721,623
受取手形及び売掛金	552,595	562,996
商品及び製品	82,350	111,654
仕掛品	17,035	17,949
原材料及び貯蔵品	42,294	41,489
その他	90,495	85,027
貸倒引当金	△5,329	△5,036
流動資産合計	2,690,466	2,535,704
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	482,394	480,163
土地	432,702	432,702
その他(純額)	343,180	368,650
有形固定資産合計	1,258,277	1,281,515
無形固定資産		
投資その他の資産	190,213	196,593
固定資産合計	1,666,987	1,699,541
資産合計	4,357,454	4,235,245
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	104,686	114,973
未払法人税等	165,800	60,200
賞与引当金	112,000	57,000
その他	276,271	331,915
流動負債合計	658,758	564,089
固定負債		
退職給付引当金	8,114	8,218
その他	2,928	2,509
固定負債合計	11,042	10,728
負債合計	669,800	574,818
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	490,300	490,300
資本剰余金	606,585	606,585
利益剰余金	2,704,647	2,670,250
自己株式	△122,635	△122,635
株主資本合計	3,678,896	3,644,499
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	3,101	8,595
評価・換算差額等合計	3,101	8,595
新株予約権	5,654	7,332
純資産合計	3,687,653	3,660,427
負債純資産合計	4,357,454	4,235,245

## (2) 四半期損益計算書

第1四半期累計期間

(単位:千円)

	前第1四半期累計期間 (自平成25年5月1日 至平成25年7月31日)	当第1四半期累計期間 (自平成26年5月1日 至平成26年7月31日)
売上高	1,116,264	1,170,429
売上原価	543,583	568,980
売上総利益	572,680	601,449
販売費及び一般管理費	411,062	445,461
営業利益	161,618	155,988
営業外収益		
受取利息	400	399
受取配当金	339	494
受取手数料	152	169
為替差益	—	182
その他	110	45
営業外収益合計	1,003	1,291
営業外費用		
支払利息	14	—
為替差損	111	—
営業外費用合計	126	—
経常利益	162,494	157,279
特別損失		
固定資産除却損	20	300
特別損失合計	20	300
税引前四半期純利益	162,474	156,979
法人税等	62,933	57,408
四半期純利益	99,540	99,570

## (3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

前第1四半期累計期間(自 平成25年5月1日 至 平成25年7月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期 損益計算書 計上額 (注) 2
	メモリアル デザイン サービス事業	パーソナル パブリッシン グサービス事 業	エアリアルイ メージング事 業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	508,796	603,901	3,566	1,116,264	—	1,116,264
セグメント間の内部売上 高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	508,796	603,901	3,566	1,116,264	—	1,116,264
セグメント利益又は損失 (△)	157,410	118,027	△14,455	260,982	△99,364	161,618

(注) 1 セグメント利益の調整額△99,364千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用(報告セグメントに  
帰属しない販売費及び一般管理費)であります。

2 セグメント利益は、四半期損益計算書の営業利益と一致しております。

当第1四半期累計期間(自 平成26年5月1日 至 平成26年7月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期 損益計算書 計上額 (注) 2
	メモリアル デザイン サービス事業	パーソナル パブリッシン グサービス事 業	エアリアルイ メージング事 業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	521,735	634,421	14,273	1,170,429	—	1,170,429
セグメント間の内部売上 高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	521,735	634,421	14,273	1,170,429	—	1,170,429
セグメント利益又は損失 (△)	152,561	127,580	△16,030	264,112	△108,123	155,988

(注) 1 セグメント利益の調整額△108,123千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用(報告セグメント  
に帰属しない販売費及び一般管理費)であります。

2 セグメント利益は、四半期損益計算書の営業利益と一致しております。